

この入試はインターネット出願方式です。
出願に際しては必ず共通冊子（別冊）を読み、出願から入学手続までの詳細を確認してください。

2018年度

GIS（グローバル教養学部）

自己推薦特別入学試験要項

12月入試

GIS GLOBAL AND
INTERDISCIPLINARY
STUDIES
Connections beyond borders



GIS（グローバル教養学部）自己推薦特別入学試験制度について

豊かな学際的教養と高度な英語運用力を備え、世界の第一線で活躍できる人材を育成するGIS（グローバル教養学部）への入学希望者を対象とする試験です。

GISでは、すべての授業が原則的に英語で行われますので、高い英語力を有することが出願の条件となります。選考の過程では、高校での授業成績や諸活動に加え、GIS設置科目への興味や研究意欲なども考慮されます。

GIS（グローバル教養学部）自己推薦入学試験（12月入試）要項

目次

1. 募集学部・学科および募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 出願書類	3
4. 出願期間	5
5. 入学試験・合格発表	5
6. 入学手続締切日	6
7. 日本国以外の国籍を有する方へ（在留資格「留学」の取得について）	6
8. よくある質問	6

G I S（グローバル教養学部）自己推薦特別入試（12月入試）

1. 募集学部・学科および募集人員

G I S（グローバル教養学部グローバル教養学科） 12月入試 30名

2. 出願資格

以下の1～3の条件をすべて満たす者

1. G I S（グローバル教養学部）で学ぶことを強く希望すること。

2. 以下の(1)(2)のいずれかに該当する者

(1)日本国内において、①②③のいずれかに該当する者

- ①高等学校または中等教育学校を卒業、もしくは2018年3月までに卒業見込みの者。
- ②通常の課程による12年の学校教育を修了した者、もしくは2018年3月までに修了見込みの者
- ③学校教育法施行規則第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者、もしくは2018年3月までにこれに該当する見込みの者【注】

【注】③は以下のいずれかに限る。

- a. 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- b. 国際的な評価団体（WASC、CIS、ACSI）の認定を受けた学校の12年の課程を修了した者
→ 本学入学時（2018年4月1日）18歳以上の者
- c. 外国の高等学校相当として指定された外国人学校を修了した者
- d. 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規定による大学入学資格検定試験に合格した者を含む）で本学入学時（2018年4月1日）に18歳以上の者
- e. 本学において、高等学校を卒業した者と同等以上の学力を有すると認定した者で本学入学時（2018年4月1日）に18歳以上の者

2017年
8月29日
追記

(2)日本国外において、①②のいずれかに該当する者

- ①日本国文部科学大臣が認定する在外教育施設の課程を修了した者、および2018年3月までに修了見込みの者
- ②日本以外の学校教育制度による12年の課程を修了した者【※1】、または文部科学大臣の指定したこれに準ずる者【※2】で、願書受付期間までに当該の資格を満たす者、もしくは2018年3月までに満たす見込みの者。その学校の採用しているカリキュラムの該当する国にて現地大学の進学に統一試験が必要な場合は、入学時までに必要な科目について合格（単位取得）していること。（詳細はこの要項のP. 2「各教育制度による出願要件一覧」を参照）

【※1】ア. いわゆる「飛び級」等により、大学入学までの通常の12年の課程を12年に満たずして卒業した場合もこれに含める。

イ. 大学入学までの通常の教育課程が12年未満の外国の学校を修了した者で、その国の公的証明により12年の教育と同等の教育を修了していると認められた場合は、この条件を満たすものとする。

【※2】大学入学までの通常の教育課程が12年未満の外国の学校を修了した者で、日本国文部科学大臣が指定する教育施設での準備教育の課程を修了し、本学入学時（2018年4月1日）に18歳以上の者はこの条件を満たすものとする。

2017年
8月29日
追記

○各教育制度による出願要件一覧

教育制度	出願要件	提出書類
アメリカ合衆国	SAT Reasoning TestまたはACTを受験していること。	SAT Reasoning TESTまたはACTの公式スコア ※SATスコア直送コード：3686 ※ACTスコア直送コード：0607
カナダ	British Columbia, Ontario：現地の大学入学に必要な科目について合格（単位取得）していること。 ----- その他の州：12年の学校教育を修了していること。	左記の成績が記載された州政府発行の成績評価証明書 ----- 修了を記載した州政府発行の証明書
イギリス	GCE Advanced Level 3科目、またはGCE Advanced Level 2科目とGCE Advanced Subsidiary Level 2科目の合計4科目を受験していること。	GCEの成績評価証明書
オーストラリア	NSW Higher School Certificate, VIC Certificate of Educationなど、現地大学への入学要件を満たしていること。	州政府発行の成績評価証明書
ニュージーランド	NCEA (National Certificate of Education Achievement) Level 3を含む、現地大学への入学要件 (UE: University Entrance) を満たしていること。現地高校の卒業証明書だけでは出願できません。	NCEA Level 3を含む成績評価証明書 (Record of Achievement)
フランス	バカロレア (Baccalauréat) を取得していること。	バカロレア (Baccalauréat) の成績評価証明書
ドイツ	アビトゥア (Abitur) を取得していること。	アビトゥア (Abitur) の成績評価証明書
国際バカロレア (IB: International Baccalaureate) 滞在国に係らず適用する	国際バカロレア (IB Diploma) を取得していること。	最終試験6科目の成績評価証明書とDiploma
その他の教育制度	現地の大学入学資格試験に相当するものを合格もしくは受験していること。詳細については入学センターまで問い合わせてください。	SAT Reasoning TESTまたはACTの公式スコア ※SATスコア直送コード：3686 ※ACTスコア直送コード：0607

3. 以下の英語能力を有する者（以下のいずれかの出願条件を満たすこと）

基準	出願条件
S 基準	<ul style="list-style-type: none"> TOEFL iBT®88 点以上（ただし Writing スコアが 21 点以上に限る）* IELTS (Academic Module) band 6.5 以上（ただし Writing band が 5.5 以上に限る） English A: LIT または English A: LAL を履修し、国際バカロレア (IB Diploma) を取得
A 基準	<ul style="list-style-type: none"> TOEFL iBT®76 点以上* IELTS (Academic Module) band 6.0 以上 TOEIC® L&R 820 点以上** 実用英語技能検定（英検）準 1 級以上 2015（平成 27）年度に受験した英検で準 1 級以上合格かつ CSE スコアが 2450 点以上の者、もしくは 2014（平成 26）年度以前に受験した英検で準 1 級以上合格した者
B 基準	評定平均が 4.0 以上であり、上記いずれかのスコアに準ずる英語力があると学部が認める者。TOEFL®*、IELTS (Academic Module)、TOEIC®L&R**、英検のいずれかの証明書を基準を満たしているかどうかにかかわらず、必ず出願時に提出すること。 ※海外の高校を卒業した、あるいは卒業見込みの場合は調査書および評定平均 4.0 相当とわかる書類を同封のうえ、事前にお問い合わせください。

* TOEFL-ITP® の結果は認められない。

**日本国外の受験結果および TOEIC® IP の結果は認められない。

3. 出願書類

(1) 入学志願書 …………… インターネットより印刷出力
入学検定料支払後に印刷出力してください。

(2) 写真（縦4cm×横3cm） …………… 1枚

- ・入学志願書の写真貼付欄にのり付けしてください。
- ・上半身、脱帽、正面、背景なしで、出願前3カ月以内に撮影したもの
- ・カラー、白黒どちらでもかまいませんが、スナップ写真、デジタルカメラなど個人で撮影した写真、プリンターで出力したものや不鮮明なものは受付できません。
- ・試験当日、眼鏡使用者は眼鏡着用の写真
- ・裏面に氏名を記入してください。

(3) 調査書（開封無効） …………… 1通

※卒業見込者は、出願前3カ月以内に発行されたもの。既卒者は卒業後に発行されたものであれば可。

①高等学校・中等教育学校後期課程（前期課程を含まない）の卒業見込者は、3年1学期（二期制の場合は前期）までの成績が記載された調査書

②高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験合格（見込）者は、合格（見込）成績証明書（大学入学資格検定合格者は合格成績証明書）

※免除（見込）科目がある場合、その科目の「単位修得（見込）証明書」（履修した高等学校で発行する証明書で、科目ごとの修得単位数が記載されたもの）は提出不要です。

③調査書が発行できない場合は、出身高校の卒業（見込）証明書および成績証明書

<注意事項>

○調査書・成績証明書等はすべて原本を提出してください。コピーでは受理できません（原本が一部しかない場合は、コピーに学校長の署名による認証を受ける）。

○調査書・成績証明書等が英語・日本語以外の言語で記載されている場合は、出身校あるいは所在国の大使館等の公的機関が認証した英訳または日本語訳を添えてください。

○高校在学中に留学をした期間の成績に関しては、留学先の成績証明書（在学年度ごとの履修科目と成績内容が明記されたもの）等を入れてください。

○高等学校に在学した全期間の成績が分かるようにしてください。

○日本以外の教育制度による当該課程修了者についてはこの要項のP.2「各教育制度による出願要件一覧」記載の証明書を必ず添えること。

- ・NCEA Level 3 及び UE:University Entrance（ニュージーランド）の結果が出願期間までに発表されない場合は、出身高校に成績評価見込証明書の作成を依頼してください（書式は任意）。

- ・国際バカロレア（IB Diploma）取得見込みについては、本学部所定の書式を使用してください。

…………… インターネットより印刷出力

- ・カナダ、イギリス、オーストラリア、ニュージーランド、フランス、ドイツ以外の国々の教育制度ならびに IB 以外による出願者は、SAT または ACT の公式スコア証明書を提出してください。SAT のスコアを直送する場合の法政大学の Code は 3686、ACT は 0607 です（出願締切日までに届いたものを有効とします）。

- ・日本国外にあるインターナショナルスクールを卒業した場合、その学校のカリキュラムの該当する国を確認してください。例えば、学校の所在地はインドネシアで、カナダのカリキュラムを採用している場合は「カナダ」の欄を確認してください。

(4) 英語能力に関する証明書（原本）

TOEFL®・IELTS・TOEIC®・英検のうち基準を満たしているいずれか1つの資格証明書（複数のテスト結果提出も可）

<注意事項>

- 英語能力に関する証明書はすべて原本を提出してください。オンライン上のスコアを個人印刷したものやコピー（学校長の印がある場合も含む）は無効です。
- TOEFL®のスコアは、ETSより法政大学に直送された Official Score Report のみ有効とします。法政大学の Institution Code は0407、Department Code は00です。
※出願締切日までに届いたものを有効とします。（出願期間開始前に届いても構いません。）
到着まで約1ヶ月かかる場合も多いため、余裕を持って手配してください。
- IELTS のスコアは、法政大学に直送するか、出願書類に同封してください。
※直送の場合、出願締切日までに届いたものを有効とします。（出願期間開始前に届いても構いません。）到着まで約1ヶ月かかる場合も多いため、余裕を持って手配してください。
- TOEIC®のスコアおよび英検の合格証は出願書類に同封してください。
- 提出されたスコアや証明書は基本的に返却いたしません。どうしても返却を希望する場合は、事前に学務部学部事務課GIS担当、もしくは入学センターへ原本を持参するか、出願時に、返信用封筒（簡易書留分の切手貼付）と、返却希望のメモを同封してください。ただし、TOEFL®のスコアは直送のみ有効のため、原本の持参・同封は受付できません。

(5) 英語による志望理由書（1,000 words 程度）…………… インターネットより印刷出力

1. 以下の内容を含めること（順不同）。

- ・GIS（グローバル教養学部）を志望する理由
- ・入学後の抱負
- ・あなたの「人物」アピール

2. 「Statement of Purpose」の表紙を出力、必要事項を記入の上、A4判またはUSレターサイズ用の紙に、パソコンで作成。12ポイント・フォントを使用し、十分な行間と余白を確保すること。また、右上に氏名を必ず記入し、出力した表紙と一緒に左上をホチキス留めすること。

※A,B基準による受験者は、内容は日本語の志望理由書と同様で構いませんが、1,000 words でまとめてください。

(6) 日本語による志望理由書…………… インターネットより印刷出力

日本語2,000字以内で記入。※S基準による受験者は提出不要。

1. 本文の内容を表す「見出し」を必ず20字程度つけること。
2. 本文は見出しを含み2,000字以内
3. 内容は英語による志望理由書の指示に準ずる。
4. 黒または青のボールペン（インク）を使用し、自筆で記入すること。
5. まとめて左上を縦向きにホチキス留めにすること。

(7) 推薦書（開封無効）…………… インターネットより印刷出力 2通
最終出身校（塾・予備校等を除く）の2名の専任教員（full-time teacher）が、出願前6カ月以内に日本語または英語で執筆し厳封すること。海外から大学宛に直送も可能。その場合は、宛名に GIS Office と明記してください。

(8) 出願書類チェックリスト…………… インターネットより印刷出力

(9) 送付用宛名…………… インターネットより印刷出力
角2封筒（240mm×332mm）の表面に貼り、出願書類を入れて郵送してください。
海外から郵送する場合は、以下の住所まで、registered mail でお送りください。

Faculty of GIS

Office of Academic Affairs

2-17-1, Fujimi, Chiyoda-ku, Tokyo, 102-8160, Japan

4. 出願期間 2017年10月24日（火）～11月2日（木）

締切日消印有効（海外からの出願は締切日までに大学必着）

5. 入学試験・合格発表

◎合格発表確認に必要な受験番号の確認と、受験票の印刷はインターネット上で受験生各自でおこなっていただきます。詳細は共通冊子Ⅱの3を参照してください。※受験票類の郵送は致しません。

入学試験には、第一次選考と第二次選考があり、第一次選考に合格した者のみ、第二次選考を受験することができます。

【第一次選考】 書類審査（調査書、志望理由書等）

【第一次選考合格発表日】 2017年12月1日（金）

【第二次選考】

選考方法 S基準：面接試験（英語）

A・B基準：小論文（英語：60分）、面接試験（英語）

試験日 2017年12月10日（日）

集合場所 法政大学 市ヶ谷キャンパス ボアソナード・タワー

（共通冊子（別冊）P.11 キャンパス案内図参照）

※集合時刻、試験会場（教室）は「受験票」でお知らせします。

◎試験当日の注意事項

(1) この入試要項と共通冊子（別冊）、受験票、筆記用具（ボールペンなど）を必ず持参してください。

(2) 遅刻は試験開始後20分まで認めます。ただし、時間には余裕を持って早めに来るようにしてください。首都圏の主要な公共交通機関に乱れ・遅れが生じ、遅刻しそうな場合は、試験本部（03-3264-5805）まで問い合わせてください。

(3) 受験生の大学構内への入構は8:00からできます。

(4) 学内および付近の飲食店は休業となります。昼食は各自で用意してください。

- (5) 携帯電話、PHS、スマートフォン、タブレット端末、ウェアラブル端末等の電子通信機器は試験教室に入る前に電源を切ってかばん等に入れておいてください。また、アラーム機能がある場合は鳴らないように設定してください。これらを時計として使用することはできません。時計は各自持参してください（試験教室に時計はありません）。
- (6) 面接の順番により終了時刻は異なります。
- (7) 保護者の方は受験生控え室には入室できません。ボアソナード・タワー1階ヘリオス等の共用スペースをご利用ください。
- (8) 辞書等の持ち込みはできません。

【第二次選考合格発表日】 2017年12月19日（火）

6. 入学手続締切日 2018年1月19日（金）

7. 日本国以外の国籍を有する方へ（在留資格「留学」の取得について）

日本国以外の国籍を有する方が日本の大学で学ぶには、基本的に在留資格「留学」を得る必要があります。入学手続き時に日本に不在の方は、出願前にお問い合わせください。

（「家族滞在」「永住者」「定住者」「永住者の配偶者等」等の在留資格でも入学することはできますが、「留学」以外の在留資格の場合、外国人留学生対象の奨学金や各種補助制度は利用できませんのでご了承ください。）

8. よくある質問

(1) S,A,B 基準のうち合格しやすい基準があるか。

→ありません。基準ごとに合格者を設けておらず、全体で30名募集しています。

(2) 推薦書や志望理由書のフォームは、昨年度のものを利用してもよいか。

→昨年度のフォームでは受付できません。必ず当該年度のものをご利用ください。

(3) 高校卒業後に、短大・専門学校・大学等の学校を卒業した、または在学している。この場合、どの学校の調査書が必要か。また、推薦書はどの学校の先生に依頼すればよいか。

→調査書は、高校から最終出身校まですべて同封してください。例えば、高校卒業後に短大を卒業し、現在大学に在籍している場合は、高校、短大、大学の調査書・成績証明書・卒業証明書が必要です。

推薦書は、最終出身校の先生に書いていただいたものを用意してください。上記の例の場合、大学の専任教員に依頼してください。

なお、塾や予備校、日本語の語学学校は当てはまりません。